



山田こうじ

日本共産党
京都市会議員

2月
予算市会報告

<http://yamada-kouji.jp/>



まちかどの
元気印

「平和でこそ 商売繁盛」

平和と暮らしを守って一直線

阪急西院・嵐電西院駅を結ぶ エレベーターが供用開始!

2014年3月に基本構想が策定されて3年目。念願のエレベーターが3月25日に供用開始されました。京都市、阪急電鉄との交渉では「交差点直下であり、地下埋設物が多い」「駅構造上困難」と言われながら、20年来、「住みよい西院学区をつくる会」のみなさんと、署名に取り組むなど、粘り強く運動を続けてきた成果です。2年後には、現在の改札のある東側にも、地下に改札を設置し、エレベーター・エスカレーターも設置される予定です。



住みつつけられる まちづくりに全力!



2014年に、イオンモール京都桂川店(商業施設面積77,000㎡)が出店した結果、西京区内で商業施設の廃業が相次いでいます。昨年、嵐山東学区唯一の商業施設ライブ嵐山が閉店したのに続き、コア松尾が閉店。今度は、京都市がつくった洛西ニュータウンの新林センターで40年来営業を続けてきたAコープが3月一杯で閉店すると突然店舗に張り紙が出され、大きな問題になっていました。

さっそく、河合市議と連携して現場の声を聞き、市長総括質疑で市長に質しました。Aコープは、地域の高齢化の中、配達サービスや地域の見守り等の経営努力もされ、集会室などの活用で地域のコミュニティとしても大きな役割を果たしてきました。店長さんは「お客さんから続けてほしいと言われるが謝るしかない」と。また、「あるお客さんからは『私に死ねというのか』と言われた」と訴えられていることを示し、跡地への店舗の誘致や地域の方の買い物支援を求めるとともに、小売商店への支援を強め、さらなる大型店の呼び込みは行わないように求めました。この中で前向きな答弁もあり、4月14日から跡地に新しい店がオープンすることになりました。

公契約の現場でこそ働き方改革を!

建築現場の賃金水準があまりにも低すぎることから建設産業の存続が危ぶまれるなか、国の政策判断のもと、設計労務単価が大きく引き上げられています。

京都市は、公契約基本条例を制定しましたが、肝心の賃金条項が規定されていないため、京都の設計労務単価が26.9%上昇しているにもかかわらず、公契約の現場では、労働者の賃金は上がっていません。

経済活性化のためにも労働者の賃金の引き上げが必要との認識のもと、京都市は国や府とも協力して、毎年、労働者の賃上げに関し経済界に要請しています。民間に賃上げを要請しているのなら、公契約の現場で賃金条項を定め、賃金を引き上げて範を示すことが必要だと質しました。



安心して暮らせるまちを!



「近所に民泊が出来そうだ」「公園のトイレのドアが壊れている」「街灯を設置して」「道路の段差の解消ができないか」「欄干のない危険な橋の改善を」「バス待ち環境の改善を」等々、多くの相談が寄せられます。

西部土木事務所や公園管理事務所、交通局、保健センターなどに住民のみなさんの声を届けて改善を進めています。民泊問題では議員団作成の「ハンドブック」も届けて、一緒に運動を進めています。

どんなお困りごとでもお寄せください

山田こうじ 電話：090-3970-4701